

Stand UP!!!! NO.11

2018年10月30日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

『人事制度の見直し』で社員が生き生き？ 手当でモチベーションを上げることが先だ!!

2018年末手当

第3回交渉～要求の根拠～

中央本部は10月30日に「2018年末手当第3回交渉」を行いました。

要求の根拠

- ①自然災害が多く発生した中でも、組合員はトラック代行輸送の構内誘導や山陰線迂回輸送など慣れない作業を担い、収入確保に尽力してきた。
- ②昨年度は2年連続での鉄道事業部門黒字を達成したが、職場の組合員に黒字の実感はない！組合員と経営幹部の意識はかけ離れている！
- ③職場では慢性的な要員不足、老朽化した設備の改善も進まず、輪転資材の確保も十分でない中で安定輸送を担っている！
- ④減収を理由とした手当抑制は断じて認められない。真面目に努力した組合員に対して会社経営陣は誠意ある回答を示すこと。

対して会社は

災害時の現場対応は感謝している。災害に関しては国や省に支援を申し入れることを検討している。上半期は現時点△116億円であり油断を許さない状況。回答指定日まで真摯に議論を深めていく。

手当を抑制して人事制度見直しなど認められない!!
生活給である年末手当を全青年部員で取りにいこう!!